



『東北圏だより』

「第5回 おでかけ交通博 2018 in あきた」を開催しました

東北運輸局

東北運輸局交通政策部交通企画課では、平成30年11月9日（金）に秋田ビューホテルにおいて「第5回おでかけ交通博 2018in あきた」を開催しました。

「おでかけ交通博」は、主に地方公共団体の交通担当者や交通事業者を対象として、喫緊の課題である地域の「おでかけの足」について考えるきっかけとするべく平成27年より開始し、今回で5回目（福島、弘前、山形、北上で過去開催）の開催となり、約200名の方に参加いただきました。

午前中は有識者を招いたパネルディスカッションを行い、福島大学・吉田准教授にコーディネーターを務めていただき、パネリストとしては、開催地からは秋田県庁及び五城目町役場、そして東北地方で活躍されている有識者「地域公共交通東北仕事人」の皆様にご発言をいただきました。



▲パネルディスカッションの様子

午後には、25団体に出展いただきポスターセッションを実施しました。まずは各団体から1分間で取組をPRしていただき、その後、取組をまとめた発表ポスターによりそれぞれの取組について説明いただきました。参加者には、興味関心のある団体の取組について、質疑応答を交えながら担当者より詳細を伺っていただきました。



▲ポスターセッションの様子

また、翌10日（土）にはエクスカーションを開催し、希望者は由利高原鉄道等の視察を行いました。由利高原鉄道では、平成30年7月より新たに鳥海おもちゃ列車「なかよしこよし」の運行を開始しており、今回はこちらの車両及び「エボルタ電池鉄道ラッピング列車」に乗車し羽後本荘駅～矢島駅間を往復しました。また、春田社長より由利高原鉄道の事業概要等についてご説明いただきました。



▲アテンダント「おぼこ」による説明
(エポルタ電池鉄道ラッピング車両内)



▲春田社長による概要説明
(矢島駅)

今年も多数の方に参加いただきました。次年度以降においても、地域の交通への取組を後押しする機会を提供していきます。

◎おまけ：んだッチ（秋田県）（写真左）、のりたろう（国土交通省総合政策局公共交通政策部）（写真右）によるコラボ！



☆ あきたPRキャプテン んだッチ

近未来から秋田をPRするためにやって来た、なまはげ型の子どもロボットです。
平成 27 年 11 月 24 日から秋田県 PR キャラクター「んだッチ」として活動を開始しました。
平成 30 年 4 月 1 日には秋田県職員に採用され、「あきたPRキャプテン」として県内外で元気いっぱい活動しています！

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」

公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」は、大好きな公共交通機関で働くことを夢見ていたが、ネコでは単独で乗り降りができないことから一念発起。自らが新たなハイブリッド公共交通機関に進化することで夢を実現し、現在は公共交通の利用促進PRの先頭に立って活動している。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：thr-kou-suishin2@mlit.go.jp